



神話の國

# 「御箸」感謝お焚き上げ祭 齋行

令和6年8月4日（箸の日）18:00～

八百万神集い 紹う  
神々の宴と旅立ちの社

万九千神社

全国から2,914膳ものお箸をお寄せいただきました

全国から大切に使われてきた2,914膳ものお箸をお送りいただきました。皆様の感謝の想いを込めて厳粛に神様へお還しすることができましたことを心から感謝いたします。



老若男女100名を超える参拝者が参列されました

また、お焚き上げ神事では約100名の皆様にご参拝いただきました。それぞれ持ち寄っていただいたお箸を真心込めて、老いも若きも順番を待ち、丁寧にご自身の手から箸を火の中に納めていきました。皆さまの温かいご参列で今回の祭りを盛大にすすめることができました。

## 御箸感謝お焚き上げ神事 18:00～



七座より「清米」の舞



全国から寄せられたお箸2,914膳



箸に感謝ささげる

【山陰】8月4日(「箸の日」)にちなんだ箸のねたきあげ神事が4日後、出雲市斐川町掛川の万九千神社でご授業された。全国から集められた約2,900膳がくべられ、参拝者は、食事に欠かせない道具に感謝ささげた。

出雲を「箸発祥の地」とうたい、御元番説教に取り組む出雲・松江両市などの宿泊事業者らでつくる「神話の郷・道の駅」が主導した。

箸の發祥地は、古事記に出てくる出雲神話「八岐大蛇・出雲」に由来する。スザノオが斐伊川を流れる一帯の箸を脱つけて川上に入り住むことを知り、出注ったシマアゲニキを食べたため八岐大蛇の退治に川から箸が記されている。

今は、箸のお祝いあげについて広く知らてもらおうと、出雲の役所に箸の回収箱を設置したほか、一般参拝者の時も込みも始めた。

実施5人分の箸を持ち込んだ出雲市斐川町上吉江の曾村、齊藤真二さん(48)は、「食べる時は食べ物に困らないようにお願いした」と話した。

寅詔の会の石川綱一郎会長は「お箸を通じて、出雲に来てもらおうきっかけになるよう広く知ってもらいたい」と話した。(片山聰平)

山陰中央新報に掲載されました

令和6年8月6日付  
山陰中央新報掲載

## 出雲神楽奉納 19:00～



お問い合わせ

神話の國 箸詣の会 事務局 有限会社ひらの屋

TEL 0853-63-4649  
FAX 0853-63-4114